成果と課題及び指導改善のポイント

中学校国語（中学１年生、中学２年生）

中学１年生で成果が見られた設問（◇）と課題が見られた設問（◆）及び 出題の趣旨

◇　文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉える　設問3二

◇　接続する語句の役割について理解する　設問5二

◆　目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする　設問2一

◆　登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える　設問4三

中学２年生で成果が見られた設問（◇）と課題が見られた設問（◆）及び 出題の趣旨

◇　言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付く　設問1二４

◇　説明や具体例を加えて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する　設問2二１

◆　読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える　設問2二３、二５

◆　登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈する　設問4三

中学校国語の課題に対応した指導改善のポイント（☑してみましょう。）

■目的や意図に応じて、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて文章を整えたりする設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。

□書く目的や意図に応じて、集めた材料を取捨選択したり、関連を考えて分類したりし、材料のまとまりごとに見出しを付けたり、新たな材料がどの項目に含まれるかを検討したりする学習活動を設定している。

□生徒の実態に応じて、表記や語句の用法、叙述の仕方、考えの根拠の適切さなど、推敲の観点を示して見直しをさせ、読み手の立場に立って自分自身の文章を見直す習慣が身に付くようにしている。

□「伝えたい内容にふさわしい材料や語句を選んでいるか」、「文や段落相互の関係は適切か」など、観点を明確にして交流し、その中で出た意見や助言を基にしてよりよい文章に直す学習活動を設定している。

☞ 正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

令和４年度 佐賀県小・中学校学習状況調査　　中学校調査
設問別調査結果[国語] １年
中学校－生徒

集計結果　　※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
				58.0	▼
県	6,489	57.2	3.9		

※ 県の結果には，「未習：１なし」かつ「集計対象：１対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数（問）	正答率	県	無解答率	県	到達基準	到達状況
学習指導要領の内容・領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	5		63.5		3.9	64.0	▼
	話すこと・聞くこと	5		59.7		1.4	60.0	▼
	書くこと	5		55.5		4.4	58.0	▼
	読むこと	5		50.2		6.1	50.0	
評価の観点	知識・技能	5		63.5		3.9	64.0	▼
	思考・判断・表現	15		55.1		3.9	56.0	▼
問題形式	選択式	12		63.4		1.3	61.7	
	短答式	3		54.6		5.4	60.0	▼
	記述式	5		44.0		9.3	48.0	▼

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は，実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等 言葉の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと					評価の観点 知識・技能	思考・判断・表現				問題形式 選択式	短答式	記述式	正答率	県	無解答率	県	期待正答率	課題が見られる設問
1	一	話題や展開を捉えながら話し合う		○								○				○				62.7		0.2	70	○
1	二	目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決める		○								○				○				63.5		0.1	60	
1	三	分かりやすく伝わるように表現を工夫する		○								○				○				75.4		0.3	70	
1	四１	必要に応じて質問しながら話の内容を捉える		○								○				○				56.5		0.6	60	○
1	四２	話の中心的な部分と付加的な部分に注意して，話の構成を考える		○								○						○		40.1		5.6	40	
2	一	目的や意図に応じて，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にする			○							○					○			41.1		3.1	60	○
2	二１	伝えたい事実が伝わる文章になるように工夫する			○							○						○		65.2		3.7	70	○
2	二２	表記や語句の用法，叙述の仕方などを確かめて，文章を整える			○							○					○			77.9		2.3	70	
2	二３	読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章の改善点を見いだす			○							○						○		37.1		5.0	50	○
2	三	書く内容の中心が明確になるように，文章の構成や展開を考える			○							○						○		56.1		7.6	40	
3	一	必要な情報に着目して要約する				○						○				○				49.7		1.0	50	○
3	二	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉える				○						○				○				78.9		1.0	50	
3	三	漢字の音読みと訓読みについて理解する	○								○					○				68.7		1.2	70	○
3	四	事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握する				○						○				○				43.4		1.5	60	○
4	一	文章の表現の効果について，根拠を明確にして考える				○						○				○				57.5		2.1	50	

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等								評価の観点					問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			言葉の特徴	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと					知識・技能	思考・判断・表現				選択式	短答式	記述式		県		県		
4	二	事象や行為を表す語句の意味を理解する	○								○					○				45.3		1.9	60	○
4	三	登場人物の心情の変化などについて，描写を基に捉える				○						○						○		21.5		24.8	40	○
5	一	文節の区切りを理解する	○								○					○				68.9		2.6	70	○
5	二	接続する語句の役割について理解する	○								○					○				89.7		2.9	70	
5	三	文脈に即して漢字を正しく書く（音読みの熟語）「対象」	○								○						○			44.8		10.9	50	○

令和４年度 佐賀県小・中学校学習状況調査　　中学校調査
設問別調査結果[国語]２年
中学校－生徒

集計結果　　※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準	到達状況
				55.0	
県	6,558	56.5	3.2		

※ 県の結果には，「未習：１なし」かつ「集計対象：１対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数（問）	正答率		無解答率		到達基準	到達状況
				県		県		
学習指導要領の内容・領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	4		61.3		0.8	62.5	▼
	我が国の言語文化に関する事項	1		68.8		1.5	60.0	
	話すこと・聞くこと	5		63.0		1.4	56.0	
	書くこと	5		48.4		1.7	50.0	▼
	読むこと	5		52.0		8.8	52.0	
評価の観点	知識・技能	5		62.8		0.9	62.0	
	思考・判断・表現	15		54.5		4.0	52.7	
問題形式	選択式	15		59.0		0.7	56.7	
	短答式	1		49.7		1.1	60.0	▼
	記述式	4		49.2		13.2	47.5	

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため，それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は，実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等							評価の観点				問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			言葉の特徴	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと			知識・技能	思考・判断・表現			選択式	短答式	記述式		県		県		
1	一１	必要に応じて質問しながら話の内容を捉える			○						○			○				80.2		0.1	60	
1	一２	論理の展開などに注意して聞き，話し手の考えと比較しながら，自分の考えをまとめる			○						○			○				60.3		0.2	60	
1	二１	自分の考えが明確になるように，論理の展開に注意して，話の構成を工夫する			○						○			○				48.4		0.3	50	○
1	二２	資料を用いて，分かりやすく伝わるように表現を工夫する			○						○			○				67.8		0.8	60	
1	二３	資料を用いて，自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する			○						○					○		58.4		5.9	50	
1	二４	言葉には，相手の行動を促す働きがあることに気付く	○							○				○				88.0		0.4	60	
2	一１	伝えたいことが分かりやすく伝わるように，文章の構成や展開を工夫する				○					○			○				54.8		0.4	50	
2	一２	事象や行為を表す語句の意味を理解する	○							○				○				54.3		0.4	60	○
2	二１	説明や具体例を加えて，自分の考えが伝わる文章になるように工夫する				○					○					○		72.3		6.0	50	
2	二２	敬語の働きについて理解する	○							○					○			49.7		1.1	60	○
2	二３	読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整える				○					○			○				38.9		0.6	50	○
2	二４	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加える				○					○			○				35.2		0.6	40	○
2	二５	読み手の立場に立って，表現の効果などを確かめて，文章を整える				○					○			○				40.6		0.8	60	○
3	一	目的に応じて情報を整理しながら適切な情報を得る					○				○			○				42.3		0.7	50	○
3	二	主張と例示との関係を捉える					○				○			○				75.7		0.7	60	

設問別集計結果

問題番号		出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等							評価の観点					問題形式			正答率		無解答率		期待正答率	課題が見られる設問
			言葉の特徴	言語文化	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと			知識・技能	思考・判断・表現				選択式	短答式	記述式		県		県		
3	三	文章と図表などを結び付け，その関係を踏まえて内容を解釈する					○				○						○		34.3		17.2	40	○
4	一	単語の類別について理解する	○							○					○				53.1		1.3	70	○
4	二	文章の表現の効果について考える					○				○				○				76.2		1.5	60	
4	三	登場人物の言動の意味について考え，内容を解釈する					○				○						○		31.7		23.8	50	○
5		行書の書き方を理解する		○						○					○				68.8		1.5	60	